

科目名		ブランドプロデュースⅠ			
担当教員		大倉敦志		実務授業の有無	○
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.イラストレーターの基本操作 2.オリジナルフリーペーパーの制作 3.ハンガーイラストの基礎				
学習目標 (到達目標)	デザインの基礎・服の構造を知りデザインをハンガーイラストを書けるようになる。また自ら企画したブランドを市場性のあるブランドとして仕掛けるための手法、様々なマーケティング・ブランディングの基礎をイラストレーターを使用した基本的な操作方法とともに習得				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	Adobe IllustratorCC				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	導入	イラストレーターインストール			
2	イラストレーター基本操作	ショートカットキー・アートボード・ツール使い方			
3	イラストレーター演習	好きなブランドMAP制作			
4	テイスト・カルチャー・テーマの決め方	テイストMAP制作作業			
5	イラストレーター演習	シューズデザインコンテストデザインワーク			
6	フリーペーパー企画	ページ構成・レイアウトについて			
7	フリーペーパー企画	テーマ・コンセプトワーク			
8	フリーペーパー実習	取材			
9	フリーペーパー実習	ページレイアウト・構成			
10	フリーペーパー実習	ページレイアウト・構成			
11	フリーペーパー実習	印刷・製本			
12	ハンガーイラスト演習	ペンツール使い方・図形の扱い			
13	ハンガーイラスト演習	T-shの描き方			
14	ハンガーイラスト演習	シャツの描き方			
15	ハンガーイラスト演習	パンツの描き方			
16	ハンガーイラスト演習	ジャケットの描き方			
17	ハンガーイラスト演習	アウター・その他の描き方			
18	前期課題まとめ	ポートフォリオとは			
19	前期課題まとめ	ポートフォリオレイアウト			
20	前期課題まとめ	ポートフォリオ発表			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題：ブランドMAP20%/テイストMAP20%/フリーペーパー50%/ 学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての課題を提出すること 制作した課題・配布した資料は全て一冊のファイルへファイリングすること			
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名		ブランドプロデュースⅠ			
担当教員	大倉敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.ハンガーイラストの応用 2.オリジナルブランドの立案 3.プレゼンテーション				
学習目標 (到達目標)	デザインの基礎・服の構造を知りデザインをハンガーイラストを書けるようになる。また自ら企画したブランドを市場性のあるブランドとして仕掛けるための手法、様々なマーケティング・ブランディングの基礎をイラストレーターを使用した基本的な操作方法とともに習得				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	Adobe IllustratorCC				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	シャツ構造		シャツパターン1/2講義		
2	シャツ構造		組み立て作業		
3	パンツ構造		パンツパターン1/2講義		
4	パンツ構造		組み立て作業		
5	ディテール・構造		ディテールごとの描き方・ポケット・ファスナー		
6	ディテール・構造		ボタン・カフス・衿バリエーション		
7	グラフィック		ボーダー・チェック・水玉の描き方		
8	オリジナルブランド立案		コンセプトワーク		
9	オリジナルブランド立案		ブランド名・ロゴについて		
10	オリジナルブランド立案		ターゲット設定		
11	オリジナルブランド立案		シーズンテーマ設定		
12	オリジナルブランド立案		グラフィック		
13	オリジナルブランド立案		デザイン・レイアウト		
14	オリジナルブランド立案		レイアウト		
15	グラフィック職だし		職だし作業		
16	グラフィック職だし		グラフィック上がりチェック		
17	プレゼンテーション練習		プレゼンテーションの資料		
18	プレゼンテーション練習		プレゼンテーションの話し方		
19	プレゼンテーション		プレゼンテーション・講評		
20	プレゼンテーション		プレゼンテーション・講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：ブランド企画書70%/グラフィック20%/学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての課題を提出すること 制作した課題・配布した資料は全て一冊のファイルへファイリングすること		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3/ファッション販売能力検定試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①、②		教科書 p8~p11 過去問題演習		
2	ファッション販売知識③		教科書 p12~p14 過去問題演習		
3	ファッション販売知識④、⑤		教科書 p15~p16 過去問題演習		
4	ファッション販売知識⑥		教科書 p17~p18 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p20~ p31 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p32~ p33 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p34~ p36 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④		教科書 p37~ p40 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑤		教科書 p41~ p43 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑥		教科書 p44~ p45 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p174~ p181 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p182~ p186 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p186~ p191 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p192~ p197 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴					

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3/ファッション販売能力検定試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p46～p75 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p76～p81 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p82～p93 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p94～p101 過去問題演習		
5	商品知識⑤		教科書 p102～p105 過去問題演習		
6	商品知識⑥		教科書 p106～p117 過去問題演習		
7	商品知識⑦、⑧		教科書 p118～p135 過去問題演習		
8	商品知識⑨、⑩、⑪		教科書 p136～p151 過去問題演習		
9	売り場づくり①		教科書 p152～p159 過去問題演習		
10	売り場づくり②		教科書 p160～p167 過去問題演習		
11	売り場づくり③		教科書 p168～p173 過去問題演習		
12	販売スタッフの業務①、②		教科書 p198～p204 過去問題演習		
13	販売スタッフの業務③、④		教科書 p205～p209 過去問題演習		
14	販売スタッフの業務⑤		教科書 p210～p213 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	後期試験		後期試験		
20	試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名		コーディネート I				
担当教員		金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科		対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修		単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	コーディネート基礎的な部分を学ぶ授業。自分、他人のコーディネートを読み解き理解を深める。トレンド、TPO、各テイストについての知識を習得し、それぞれのカテゴリーに落とし込んだコーディネートを作ることができる。また、コーディネートをよく作り、他者のイメージに合わせたコーディネートを作れるようになる人材を育成。					
学習目標 (到達目標)	トレンド・体系別・カラー・テイストを理解したコーディネート提案ができる。実際に組み合わせを理解企画し実際にコーディネートを作成する。					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	授業ルール・導入			授業ルール配布。		
2	テイスト講義			テイスト講義		
3	テイストスタイリング着せ付け、撮影			テイスト作成、撮影		
4	カラーコーディネート 講義、企画作成			カラーコーディネートについて 講義、企画指示		
5	トレンドとは？ 講義			トレンドについてのプリント配布、講義。		
6	2020S/Sトレンドカラー・ジュマッチーム作成・調べ方レクチャー ファッション生活2つの側面			チーム分けしてSSトレンド情報収集方法をレクチャーしカラー・ジュマッ作成。		
7	2020S/Sトレンドカラー・ジュマッチーム作成			チームごとでカラー・ジュマッ作成実施。		
8	ファッションとライフスタイルとは？について			ファッションとライフスタイルの関係についてのプリント配布。		
9	コーディネートの基本 (A・Y・Iライン講義)			各シルエットについて例題作成。		
10	A・Y・Iライン 実制作、撮影			コーディネートを作成し、写真を撮影しワークシート作成。作成後提出。		
11	A・Y・Iライン ワークシート作成			写真取り込み、ワークシート作成。作成後提出。		
12	TPO講義			TPOについての講義。フォーマル、カジュアルについて		
13	TPOスタイリング プランニング作成			TPOスタイリングのプランニング作成		
14	TPOスタイリング 着せ付け、撮影			TPOスタイリングをトルソーに着せ付け写真撮影。		
15	TPOスタイリング ワークシート完成			TPOスタイリングをPCにてワークシート作成。		
16	チーム別2019年AWトレンドキーワード調査			チーム分けをしてAWトレンド調査実施。		
17	チーム別2019年AWトレンドキーワード調査 マップ作成			チーム分けをしてAWトレンド継続調査。キーワードをマップにして作成。		
18	チーム別2019年AWトレンドキーワードマップ プレゼン			キーワードマップ作成、プレゼン実施		
19	前期まとめ (バランスコーデ、TPO)			前期のまとめテスト実施。		
20	前期まとめ (自分のコーディネート分析)			自分のコーディネート分析シート作成。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~50)				A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴		セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名		コーディネートⅠ				
担当教員		金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科		対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修		単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	コーディネート基礎的な部分を学ぶ授業。自分、他人のコーディネート进行分析し理解を深める。カラー、素材、体形カバーについての知識を習得し、それぞれのカテゴリーに落とし込んだコーディネートを作ることができる。ブランドイメージに合ったコーディネートを作り企業の即戦力になれる人材を育成する。					
学習目標 (到達目標)	トレンド・体系別・カラー・テイストを理解したコーディネート提案ができる。実際に組み合わせを理解企画し実際にコーディネートを作成する。					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	キレイめとカジュアルについて 講義		キレイめとカジュアルについてのプリント配布			
2	テイスト講義 プランニングシート作成		テイストについてのプリント配布。プランニングシートをPCで作成。			
3	テイストスタイリング着せ付け 撮影		テイストスタイリング着せ付け実施。カメラで撮影後、PC取り込みワークシート作成。			
4	カラー、トーン別スタイリング 講義		カラー、トーン別スタイリングについてのプリント配布し講義。			
5	カラー、トーン別スタイリング プランニング、コラージュマップ作成		カラー、トーン別スタイリングについてプランニング、コラージュマップ作成			
6	カラー、トーン別スタイリング 着せ付け、撮影		カラー、トーン別でスタイリングを組んで着せ付け。カメラで撮影後PC取り込みシート作成。			
7	素材別スタイリング 講義		素材別のスタイリングについて講義			
8	素材別スタイリング プランニング、コラージュマップ作成		素材別のスタイリングのプランニング、コラージュマップ作成。			
9	素材別スタイリング 撮影、ワークシート作成		素材別のスタイリング撮影、ワークシート作成。			
10	体型カバー 講義		体型カバーについてのプリント配布。			
11	体型カバー 撮影		体型カバーの実制作とカメラで撮影。			
12	体型カバー ワークシート作成		写真のPC取り込みとワークシートを作成。			
13	トレンド講義		トレンドについてのプリント配布、講義			
14	トレンドコーディネート プランニング		トレンドを踏まえたコーディネートのプランニング。2体以上のコーディネート案策定。			
15	トレンドコーディネート 作成、撮影		トレンドコーディネート作成 2体以上のコーディネート、小物類までトレンドを含める。			
16	トレンドコーディネート ワークシート作成		トレンドコーディネートのワークシート作成。			
17	修了課題 企画作成		1年間のまとめとして今まで学んだことを活かして企画作成。シルエット、テイスト、カラー、TPOを加味			
18	修了課題 買い出し		企画に沿ったアイテム探し、買い出し			
19	修了課題 撮影		修了課題 撮影			
20	修了課題 発表		修了課題 発表			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。			
実務経験教員の経歴		セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	WEBショップ				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	MAKESHOPというWEBサイトを使用し実際にNETSHOPを企画、立ち上げる。 またWEB上のメリット、デメリットを理解しより良いNETSHOPがどのようなサイトなのかを考え、学んでいく授業。				
学習目標 (到達目標)	WEBSHOPの開設 ネットショッピングの基本的な知識からお店のプランニング、実際に開店するまでの事を学び、合わせてPCスキルの基礎までを学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	開店講座				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業ルール、意識付け、導入 WEBと実店舗のメリット、デメリット		授業ルール配布。WEBと実店舗のメリットデメリットについてのプリント配布。		
2	様々なWEBサイトのページ比較 ワークシート実施		ワークシートを配布し各WEBSHOPについてのワークシート作成。		
3	好きなブランドのWEBサイトの良い点を画像を入れてワークシート作成		好きなブランドのWEBサイトを2つピックアップし、画像を挿入してワークシート作成。		
4	ショップコンセプト作成1		コンセプトについて講義。有名ブランドのコンセプトなどを紹介。		
5	ショップコンセプト作成2		ショップコンセプトシート配布。コンセプト、キャッチコピー、ターゲット、プライスレンジなどの設定		
6	ショップコンセプト作成3		ショップコンセプトシート、企画書作成。		
7	ログイン		MAKESHOPログインを実施。		
8	ショップ名を付ける		ショップ名作成にあたってショップ名の由来などをワークシートを使用して作成。		
9	ショップ制作開始、ログイン(P.17～)		ショップ制作開始 開店講座P17～		
10	取り扱い商品策定		取り扱い商品の策定		
11	取り扱い商品画像収集		取り扱い商品の画像をPCにて収集		
12	会社基本情報		会社基本情報19、20P		
13	ドメインとは		ドメインとはについて講義		
14	お問い合わせ		お問い合わせ21、22P		
15	会社紹介		会社紹介の設定 24P		
16	タグ、品番とは		タグ、品番について講義		
17	利用案内について		利用案内について講義		
18	トップ画像 収集		PCにてトップ画像のイメージ探し		
19	トップ画像 収集		PCにてトップ画像のイメージ探し		
20	トップ画像制作		トップ画像制作		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシートの取組意欲、WEBSHOPの出来栄等で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			PC、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名		WEBショップ				
担当教員		大倉 敦志		実務授業の有無		○
対象学科		ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科		対象学年		1
必修・選択		必修		単位数		2
				開講時期		後期
				時間数		40時間
授業概要、目的、 授業の進め方		自分のNETSHOPを立ち上げる。アイテムの載せ方、写真の撮り方、商品登録、WEBサイトのデザインなど、総合的に学ぶ授業。卒業後に即NETSHOPを立ち上げることができるように学んでいく。				
学習目標 (到達目標)		WEBSHOPの解説 ネットショッピングの基本的な知識からお店のプランニング、実際に開店するまでの事を学び、合わせてPCスキルの基礎までを学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		開店講座				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	セールの効果について			セールについての講義。		
2	カテゴリーの設定			カテゴリーの設定		
3	商品画像収集			取り扱い商品の画像をインターネットで収集		
4	商品画像収集			取り扱い商品の画像をPCにて入れ込みショップへ。		
5	商品登録1			アプリケーションを使用して商品の登録をする。		
6	商品登録2			アプリケーションを使用して商品の登録をする。		
7	ショップロゴ、ヘッダー、バナーについて			ショップロゴ、ヘッダー、バナーについて 32,33P		
8	ショップロゴ作成2			ショップロゴをPCにて作成。		
9	ヘッダー作成			ヘッダーをPCにて作成。		
10	バナー作成			バナーをPCにて作成。		
11	デザインテンプレート、カテゴリー画面デザイン作成			テンプレート作成、カテゴリー画面のデザインをPCにて作成。		
12	デザインテンプレート、カテゴリー画面デザイン作成			テンプレート作成、カテゴリー画面のデザインをPCにて作成。		
13	WEBショップ最終チェック			自身のWEBショップの最終チェック。		
14	WEBショップ 完成 プレゼン。			自身のWEBショップの仕上げ。完成 プレゼン実施。		
15	WEBショップ プレゼン。			自身のWEBショップのプレゼン実施。		
16	SEO対策とは SEOキーワード帳制作			SEO対策とは？(P7) 講義 キーワード帳作成		
17	SEOキーワード帳制作			キーワード帳作成		
18	テスト注文 実施			テスト注文 実施 52,53P		
19	発送処理について			発送処理や梱包について 54,55P		
20	SNSについて まとめ			SNSについての講義 1年間のまとめ		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシートの取組意欲、WEBSHOPの出来栄で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)				PC、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴		県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				



科目名	ファッションフォト I				
担当教員	三富 晴美		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. カメラの基本的な使用方法を身につける 2. 照明・ライティング・機材の使い方を身につける 3. 人物の撮影や商品の物撮りの方法を身につける				
学習目標 (到達目標)	カメラの基礎的な操作方法、スタジオでのマナー使用方法を学ぶ。人物撮りのテクニック・物撮りなど実習だけでなくプリントなどを配布し撮影の知識を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入カメラの使い方、カメラに触れる①操作方法		操作方法の基本や撮影の方法などをレクチャー		
2	導入カメラの使い方、カメラに触れる②撮影		実際に撮影をしてみる		
3	カメラ基礎①(絞り、シャッタースピード、感度、露出)①		カメラの撮影テクニック知る。		
4	カメラ基礎①(絞り、シャッタースピード、感度、露出)②		カメラの撮影テクニック知る。実際に撮影してみる		
5	カメラ基礎②(ホワイトバランス、構図、光の方向及び効果)①		カメラの撮影テクニック知る。		
6	カメラ基礎②(ホワイトバランス、構図、光の方向及び効果)②		カメラの撮影テクニック知る。実際に撮影してみる		
7	写真展覧会 観賞		美術館での写真展覧会の見学と感想レポート提出		
8	人物の撮影		人物の撮影方法や照明などの使い方		
9	ストロボを使った撮影①		ストロボを使用した撮影方法の色々		
10	ストロボを使った撮影②		ストロボを使用した撮影方法の色々		
11	風景の撮影		風景の撮影 自由課題		
12	課題 (NO LIFE ○○○) ①		課題レコード会社の広告写真を真似た課題を作成する		
13	課題 (NO LIFE ○○○) ②		課題レコード会社の広告写真を真似た課題を作成する		
14	商品の物撮り①		WEB広告用の写真撮影の技術を学ぶ。撮影		
15	商品の物撮り②		WEB広告用の写真撮影の技術を学ぶ。撮影		
16	商品の物撮り③		WEB広告用の写真撮影の技術を学ぶ。撮影		
17	写真集撮影の編集作業 1		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
18	写真集撮影の編集作業 2		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
19	写真集撮影の編集作業 3		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
20	写真集撮影の編集作業 4		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題 90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在10年経験				

科目名	ファッションフォトⅠ				
担当教員	三富 晴美		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. カメラの基本的な使用方法を身につける 2. 照明・ライティング・機材の使い方を身につける 3. 人物の撮影や商品の物撮りの方法を身につける				
学習目標 (到達目標)	カメラの基礎的な操作方法、スタジオでのマナー使用方法を学ぶ。人物撮りのテクニック・物撮りなど実習だけでなくプリントなどを配布し撮影の知識を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	値をシーンに応じて使い分ける撮影		カメラの値による撮影の違いを理解し撮影する		
2	ホワイトバランスを利用した天候別撮影方法		ホワイトバランスを変更した撮影方法を知る		
3	レイヤーを考えた撮影方法		レイヤーや構図を考え撮影する		
4	F値の変化による撮影方法		F値を変化させることで撮影イメージの変化をさせる		
5	スローシャッター1/10で撮影してみる		スローシャッターで撮影してみる。		
6	視点を変えた撮影方法 高低差をつけて撮影してみる		視点を変えた高低差を意識した撮影方法を学ぶ		
7	水平・垂直を意識して撮影してみる		写真撮影で水平・垂直を意識した撮影		
8	背景を意識し絞りを考えて撮影		背景と被写体のバランスを考え撮影してみる		
9	写真集課題④撮影「街」撮影企画・立案構成		課題「街」をテーマに撮影プラン企画書作成		
10	写真集課題④撮影「街」撮影		課題「街」をテーマに撮影		
11	写真集課題⑤撮影「風景」撮影企画・立案構成		課題「風景」をテーマに撮影プラン企画書作成		
12	写真集課題⑤撮影「風景」撮影		課題「風景」をテーマに撮影		
13	写真集課題⑥撮影「笑顔」撮影企画・立案構成		課題「笑顔」をテーマに撮影プラン企画書作成		
14	写真集課題⑥撮影「笑顔」撮影		課題「笑顔」をテーマに撮影		
15	写真集撮影の編集作業1		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
16	写真集撮影の編集作業2		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
17	写真集撮影の編集作業3		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
18	写真集撮影の編集作業4		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
19	作品集のプレゼンテーションまとめ		出来上がった写真集を基にコンセプトや写真についてプレゼンテーション		
20	作品集のプレゼンテーションまとめ		出来上がった写真集を基にコンセプトや写真についてプレゼンテーション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在10年経験				

科目名		ファッションメイク I							
担当教員		河田 愛		実務授業の有無		○			
対象学科		ファッションプロデュース科	対象学年		1	開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		2	時間数		40時間
授業概要、目的、授業の進め方		1.メイク道具の使い方を覚える。 2.ファンデーションの知識・各ポイントメイクのやり方を学びフルメイクの技術を身につける。							
学習目標 (到達目標)		1.基本となるメイク道具の使い方がわかる 2.メイクテクニックの基礎を習得する							
テキスト・教材・参考図書・その他資料		メイクブラシ一式、メイクパレット他メイクに必要な道具 その他配布資料							
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考					
1	メイク道具の確認と説明			道具の名称・使い方の説明					
2	顔の黄金比とパーツの名称			顔を黄金比に沿って描いてみる、パーツの説明					
3	スキンケアとファンデーションについて			化粧水と乳液の役割、ファンデーションの種類を知る					
4	スキンケア～ファンデーション			相モデルで実習					
5	ファンデーション練習と眉メイク			相モデルで実習、眉の基本の形3種を紙に描いて練習					
6	眉メイク練習			練習用マネキンと相モデルで実習					
7	眉練習とアイメイク（グラデーションの入れ方～アイライン）			相モデルで実習					
8	アイメイク（マスカラまでのフルアイメイク）			相モデルで実習					
9	アイメイク練習とチーク・リップ			相モデルで実習					
10	ハイライトとローライト フルメイク完成			相モデルで実習					
11	フルメイク練習			相モデルで実習					
12	フルメイク練習			相モデルで実習					
13	フルメイク練習			相モデルで実習					
14	フルメイク技術チェック			相モデルで実習、チェック					
15	色々なイメージのメイク			配布資料にて説明、ワークシートに色を塗る					
16	色々なイメージのメイク			配布資料にて説明、ワークシートに色を塗る					
17	テーマに沿ったメイク 練習（テーマ未定）			相モデルで実習					
18	テーマに沿ったメイク 実技			相モデルで実習、チェック					
19	テーマに沿ったメイク 練習（テーマ未定）			相モデルで実習					
20	テーマに沿ったメイク 実技			相モデルで実習、チェック					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意					
実習態度50%、「チェック」時の評価50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				メイクの基礎実習が中心となりテストがない為、毎回道具の不備がない様準備をし、真剣に取り組むことが重要。練習で遅れを取るとメイクのチェック時に大きな減点と成り得るので注意。相モデルの際はお互い協力して取り組むこと。					
実務経験教員の経歴		ヘアメイク実務歴13年							

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名		ファッションメイク I			
担当教員	河田 愛	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.ヘアアレンジの技術を学ぶ。 2. テーマに沿い、モデルに合わせたヘアメイク実習を行う。				
学習目標 (到達目標)	1.簡単なヘアアレンジが出来る 2.ヘアメイクの技術を向上させる 3.ファッションとメイクを結びつけて考える事が出来る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	メイクブラシ一式、メイクパレット他メイクに必要な道具 コーム他ヘアに必要な道具 その他配布資料				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ヘアの道具の説明、ブラッシング～ポニーテール	道具の名称と使い方、練習用マネキンでの実習			
2	ポニーテールとツインテール、ヘアピンの使い方	練習用マネキンでの実習			
3	編み込み（表と裏）、ツイスト編み	練習用マネキンでの実習			
4	編み込み（表と裏）、ツイスト編み	練習用マネキンでの実習			
5	編み込みの応用	練習用マネキンでの実習			
6	編み込みの応用	練習用マネキンでの実習			
7	ヘアアイロンの使い方（内巻きと外巻き）	練習用マネキンでの実習			
8	ヘアアイロンの応用、逆毛	練習用マネキンでの実習			
9	ヘアアイロンの応用、逆毛	練習用マネキンでの実習			
10	ホットカーラーの使い方	練習用マネキンでの実習			
11	ホットカーラーの使い方	練習用マネキンでの実習			
12	ヘアアイロンを使用したスタイル作り	練習用マネキンでの実習、チェック			
13	アップスタイルの作り方	練習用マネキンでの実習			
14	アップスタイルの作り方	練習用マネキンでの実習			
15	アップスタイル課題	練習用マネキンでの実習、チェック			
16	コーディネートに合わせたヘアメイク課題 立案	ヘアになり、ワークシートにて立案作成			
17	コーディネートに合わせたヘアメイク課題 練習	相モデルで実習			
18	コーディネートに合わせたヘアメイク課題 練習	相モデルで実習			
19	コーディネートに合わせたヘアメイク課題 実技	相モデルで実習（一人目）			
20	コーディネートに合わせたヘアメイク課題 実技	相モデルで実習（二人目）、課題提出			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実習態度40%、課題評価40%、「チェック」時の評価20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ヘアの基礎実習では毎回道具の不備がない様準備をし、真剣に取り組むことが重要。最後に行う課題は必ず提出する事。ワークシートに不備がある場合再提出とする。			
実務経験教員の経歴	ヘアメイク実務歴13年				

科目名		色彩学			
担当教員	渡邊 津多子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1年間で色彩学を学ぶ内容を説明。自分の好きな色・嫌いな色を考える		演習 配色ワークブックP3.4 色相環・好きな色・配色と嫌いな色・配色を作成する。		
2	色の分類・無彩色・有彩色・色の三属性について（色相・明度・彩度）についての理解		テキストP24～P27・P30・P31		
3	PCCSについての色の三属性（色相・明度・彩度）についての理解 心理四原色・24色相について		テキストP31～P35		
4	PCCSについての色の三属性（色相・明度・彩度）についての理解 トーン表について。トーンの種類の方法を覚える。		テキストP31～P35・小テスト24色相		
5	光と色について 光のエネルギー・電磁波の模式図の解説・太陽とスペクトル・プリズム分光の説明		テキストP6～P8・小テストトーン表		
6	反射・吸収・透過・屈折・干渉・回折・散乱の解説		テキストP9～P12		
7	眼の仕組み。視細胞照明の見え方		テキストP13・P15		
8	照明と色の見え方		テキストP16・P17		
9	混色について解説 加法混色・減法混色		テキストP18～P23		
10	清色・等色相面・色立体・JISについて解説		テキストP28～P29・P33～P35・P40～P41		
11	色の視覚効果・対比とは（色相対比・明度対比・彩度対比・補色対比・縁辺対比）		テキストP48～P51		
12	補色対比・縁辺対比		テキストP52～P53 ワークシート		
13	色の視覚効果・同化とは（色相同化・明度同化・彩度同化）		テキストP54～P57		
14	色彩調和・色相を手掛かりとした配色（同一・隣接・類似）		テキストP62～P69		
15	色彩調和・色相を手掛かりとした配色（中差・対照・補色）		テキストP70～P75		
16	色彩調和・トーンを手掛かりとした配色		テキストP76～P81		
17	セパレーション・アクセント・グラデーション		テキストP82～P87		
18	色彩心理・色の心理的效果について・色の知覚的效果について		テキストP42～P47		
19	色彩心理・色の心理的效果について・色の知覚的效果について		テキストP58～P61		
20	復習・まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	教員17年				

科目名	色彩学				
担当教員	渡邊 津多子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 プライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	色彩効果・色彩と構成について		テキストP90～93		
2	色彩と生活・生活環境と色彩・ファッションとは・ファッションと色彩		テキストP94～P105		
3	インテリア・インテリアと色彩・インテリアのカラーコーディネート		テキストP106～P111		
4	検定対策		模擬問題テスト・解説		
5	検定対策		模擬問題テスト・解説		
6	検定対策		模擬問題テスト・解説		
7	検定対策		模擬問題テスト・解説		
8	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
9	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
10	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
11	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
12	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
13	パーソナルカラードレープ実習①		実習 ドレープで肌色診断		
14	パーソナルカラードレープ実習②		実習 ドレープで肌色診断		
15	パーソナルカラードレープ実習③		実習 ドレープで肌色診断		
16	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートにて配色を理解		
17	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートにて配色を理解		
18	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ビコロール・ロリコロール		演習 ワークシートにて配色を理解		
19	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ビコロール・ロリコロール		演習 ワークシートにて配色を理解		
20	まとめ		後期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	教員17年				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科 ブライダルコスチュームデザイン科、 アパレルニット科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	ワード検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Wordクイックマスター基本編・Word過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ワードの基本		起動から終了までP2～P19 演習P20		
2	編集の基本操作		新規文書の作成から文字入力P22～40		
3	編集の基本操作		P41～51 演習P52		
4	文書の編集①		書式設定～一・網掛けP54～60		
5	文書の編集②		P61～83 演習P84		
6	文書の印刷設定①		改ページから印刷の実行P86～97 演習P98		
7	文書の作成②		あいさつ文からビジネス文書の作成P100～110		
8	文書の作成③		P111～121		
9	文書の作成④		P122～131 演習P132		
10	表の作成①		作成から装飾P134～145		
11	表の作成②		P146～165 演習P166		
12	図形や画像①		ワードアートからアイコンの挿入P168～179		
13	図形や画像②		P180～190		
14	図形や画像③		P191～201 演習P202		
15	総合学習問題		テキストP204～208		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を8年経験				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科 ブライダルコスチュームデザイン科、 アパレルニット科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	エクセル検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Excelクイックマスター基本編・Exceld過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	エクセルの基本		起動から終了P2～20 演習P21, 22		
2	データの編集		新規ブックから保存P24～54		
3	データの編集		演習P55, 56		
4	表の編集		罫線から行・列の挿入P58～82		
5	表の編集		演習P83, 84		
6	ブックの印刷		表示モードから印刷範囲P86～100 演習P101, 102		
7	グラフと図形		グラフと図形の作成P104～138		
8	グラフと図形		演習P139, 140		
9	ブックの利用と管理		ワークシートの管理、ウィンドウの操作P142～P153		
10	ブックの利用と管理		演習P154, 155		
11	関数		統計から日付P158～188		
12	関数		演習P189, 190		
13	データベース機能		リスト作成からテーブル機能P192～210		
14	データベース機能		演習P211, 212		
15	総合学習問題		テキストP214～217		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を8年経験				



科目名	ファッション史				
担当教員	服部 円		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション史 導入		授業の取り組み方について		
2	バロック時代		ドレス、時代について 画像、映画参照		
3	ロココ時代①		ドレス、時代について 画像、CM、映画参照		
4	ロココ時代②～マリーアントワネットの生き方～		ドキュメンタリー参照		
5	新古典主義		ドレス、時代について 画像、映画参照		
6	レポートの書き方について～テーマ選び～		課題説名		
7	レポート発表		グループ毎にプレゼン		
8	1900年代までのドレスまとめ		ドレス、時代についての総まとめ		
9	1910年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、 映画参照		
10	1920年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、 映画参照		
11	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
12	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
13	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
14	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
15	まとめ小テスト		小テストにて評価		
16	バンクムーブメント		バンクの歴史		
17	80年代ブランドブーム		80年代のブランドについて		
18	90年代バブルファッションについて		90年代のバブルファッション		
19	デニムの歴史		デニムの歴史について		
20	前期試験対策		前期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴		外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる			

科目名		ファッション史			
担当教員	服部 円	実務授業の有無		○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1930年～1940年 女性ファッションと文化		ファッション、文化 画像映画参照		
2	1950年 女性ファッションと文化、デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
3	1960年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
4	1970～1980年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
5	1990年 ファッションと文化、レポートについて		ファッション、文化について、課題について		
6	ジーンズの歴史		ジーンズのルーツ、日本のジーンズとの関わり		
7	ヒップホップのファッション歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
8	モッズファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
9	サイケデリックファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
10	ギャルファッションについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
11	海外ファッションの移り変わりまとめ		ファッション、文化について 画像、映画参照		
12	ココシャネル映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
13	イブサンローラン映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
14	マリーアントワネット映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
15	まとめレポート感想		まとめレポート作成		
16	グランジファッション		ファッション、文化について 画像、映画参照		
17	メイクの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
18	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
19	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
20	後期試験解説		後期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴		外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる			

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名		ファッションマーケティング				
担当教員		松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科、 スタイリスト科		対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. マーケティングの基本的な知識の習得 2. ブランド企画書を作成 3. 販売経路や差別化を知る					
学習目標 (到達目標)	ファッション産業においての必要とされる専門用語、流通の仕組み知識を幅広く学び、ファッション販売検定の取得、業界の全体像をつかむ。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	オリエンテーション		マーケティング授業の方針やルールなど			
2	INTRODUCTION 自己紹介 マーケティングとは考え方 進め方		マーケティングの基本的な考え方			
3	戦略と戦術 STP		戦略と戦術について			
4	STPパワポ使い方		パワーポイントの使い方			
5	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義			
6	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義			
7	ポジショニングプレゼン		ポジショニング課題のプレゼンテーション			
8	4Pについて		4Pについて			
9	4Pについて		4Pについて			
10	ブランドアイデンティティ		ブランドアイデンティティについて			
11	ファッションテイスト		ファッションのテイストについて			
12	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成			
13	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成			
14	企画書作成 ポジショニング		ブランド企画書作成			
15	企画書作成 スタイルマップ		ブランド企画書作成			
16	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成			
17	企画書作成 差別化		ブランド企画書作成			
18	企画書作成 ニーズとウォンツ		ブランド企画書作成			
19	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成			
20	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価とプレゼンテーションでの評価			
実務経験教員の経歴		アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				

科目名		ファッションマーケティング				
担当教員		松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科、 スタイリスト科		対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. マーケティングの基本的な知識の習得 2. ブランド企画書を作成 3. 販売経路や差別化を知る					
学習目標 (到達目標)	ファッション産業においての必要とされる専門用語、流通の仕組み知識を幅広く学び、ファッション販売検定の取得、業界の全体像をつかむ。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	企画書作成 4P		企画書作成			
2	企画書作成 4P		企画書作成			
3	企画書作成 顧客の囲いこみ		企画書作成			
4	企画書作成 顧客の囲いこみ		企画書作成			
5	企画書作成		企画書作成			
6	企画書作成		企画書作成			
7	企画書作成		企画書作成			
8	企画書作成		企画書作成			
9	企画書作成		企画書作成			
10	企画書作成		企画書作成			
11	企画書作成		企画書作成			
12	企画書作成		企画書作成			
13	企画書作成		企画書作成			
14	企画書作成		企画書作成			
15	企画書作成		企画書作成			
16	企画書作成		企画書作成			
17	企画書作成		企画書作成			
18	プレゼンテーション審査		プレゼンテーション審査			
19	プレゼンテーション審査		プレゼンテーション審査			
20	プレゼンテーション審査		プレゼンテーション審査			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価とプレゼンテーションでの評価			
実務経験教員の経歴		アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				

科目名	就職実務 I				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	実践行動学 1 第1章		実践行動学をつかった意識付け授業第1章を行う		
2	実践行動学 1 第2章		実践行動学をつかった意識付け授業第2章を行う		
3	実践行動学 1 第3章		実践行動学をつかった意識付け授業第3章を行う		
4	バイトとフリーターの違い。働くということ		アルバイトやフリーターの違いや働く意義について		
5	効果的な自己PRの方法		プレゼンテーション面接でのコツ		
6	就職マナー指導研修 挨拶・電話・言葉使い		挨拶・マナー・言葉使い指導		
7	履歴書を書いてみよう。注意点を説明(宿題)プリント配布		履歴書の書き方、評価のポイントなどについて指導		
8	自己分析PRを考える。効果的な自己プレゼンテーション		自己PRを考える。過去の自分の振り返り		
9	アパレル業界の仕組み職業理解を深める		アパレル業界の職種について解説		
10	企業研究の方法・手段について		企業研究の方法や手段について学ぶ		
11	エントリーシート対策		複雑化するエントリーシートを実際に記入してみる		
12	インターンシップ・就職研修のいろいろ		インターンシップのマナー・就職研修について解説		
13	企業へのアポイントの取り方(訪問の方法)		企業様への訪問のマナーやルール		
14	企業へのアポイントの方法(電話・メールでのマナー)		企業様への電話やメールでの問い合わせ方法を学ぶ		
15	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
16	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
17	実践行動学 1 第4章		実践行動学をつかった意識付け授業第4章を行う		
18	実践行動学 1 第5章		実践行動学をつかった意識付け授業第5章を行う		
19	スーツ着こなし講座(男女別)		リクルートスタイルの着こなしについて		
20	人事講演会		大手アパレル人事担当者の特別講演会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				

科目名	就職実務 I				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の手段・方法についてPCでエントリーしてみる。活動の心構え		エントリーとは		
2	実践行動学2 第1章		実践行動学をつかった意識付け授業第1章を行う		
3	実践行動学2 第2章		実践行動学をつかった意識付け授業第2章を行う		
4	実践行動学2 第3章		実践行動学をつかった意識付け授業第3章を行う		
5	コミュニケーション検定対策1		コミュニケーション検定対策授業		
6	コミュニケーション検定対策2		コミュニケーション検定対策授業		
7	コミュニケーション検定対策3		コミュニケーション検定対策授業		
8	コミュニケーション検定対策4		コミュニケーション検定対策授業		
9	コミュニケーション検定対策5		コミュニケーション検定対策授業		
10	合同企業ガイダンスについて		合同企業ガイダンスについて解説		
11	OBOG訪問について		OBOG訪問でのマナー		
12	グループディスカッション対策		グループディスカッション対策		
13	実践行動学2 第4章		実践行動学をつかった意識付け授業第4章を行う		
14	実践行動学2 第5章		実践行動学をつかった意識付け授業第5章を行う		
15	女子メイク講座① 男子面接練習①		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
16	女子メイク講座② 男子面接練習②		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
17	内定者からの話		先輩の内定者座談会を開催。就職での苦労点など		
18	就職研修宿泊予定		就職のための合宿予定		
19	求職登録面接		学内面接会開催		
20	就職実務・保護者との3者面談情報の共有について		3者面談での企業研究の方法		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アメリカ・ロサンゼルスについて①		スライド資料で都市の見所講義		
2	アメリカ・ロサンゼルスについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
3	韓国・ソウルについて①		スライド資料で都市の見所講義		
4	韓国・ソウルについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
5	イタリア・ローマについて		スライド資料で都市の研修内容講義		
6	イタリア・フィレンツェについて①		スライド資料で都市の見所講義		
7	イタリア・フィレンツェについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
8	イタリア・フィレンツェについて③		スライド資料で都市の研修内容講義		
9	イタリア・ミラノについて		スライド資料で都市の研修内容講義		
10	アメリカブランドの歴史		アメリカを代表するブランド講義		
11	イタリアブランドの歴史		イタリアを代表するブランド講義		
12	フランスブランドの歴史		フランスを代表するブランド講義		
13	フランス・パリについて①		スライド資料で都市の見所講義		
14	フランス・パリについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
15	アメリカの歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
16	韓国の歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
17	イタリアの歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
18	フランスの歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
19	コース選択とりまとめ		コース選択集計		
20	パリコースとりまとめ		パリコース希望者レポート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：参加申込書 授業態度：100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各国、各都市の特徴、歴史をよく理解し、意欲的な姿勢で授業に臨むこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パスポートについて		パスポート取得方法の講義・パスポートの重要性講義		
2	クレジットカードについて		アメリカESTAの講義・クレジットカードの役割について		
3	ロサンゼルス研修企業について①		研修先企業研究講義①		
4	ロサンゼルス研修企業について②		研修先企業研究講義②		
5	ヨーロッパ研修企業について①		研修先企業研究講義①		
6	ヨーロッパ研修企業について②		研修先企業研究講義②		
7	保険・準備物について①		海外旅行保険・レンタル品等の説明		
8	保険・準備物について②		保険・レンタル品申込み集計		
9	オプションツアーについて①		ツアー内容紹介		
10	オプションツアーについて②		ツアー決定・集金・とりまとめ		
11	お金について①		両替・為替の説明・講義		
12	お金について②		両替・為替の説明・講義		
13	防犯について①		治安と荷物管理・服装・行動について講義		
14	防犯について②		服装・荷物の確認・チェック		
15	防犯について③		過去の事例紹介		
16	研修中注意事項①		海外でのマナー・ルールについてチェックリストで講義		
17	研修中注意事項②		海外でのマナー・ルールについてチェックリストで講義		
18	出発前の最終注意事項		チェックリストの配布・機内持ち込みの説明		
19	研修期間①		海外研修期間		
20	研修期間②		レポート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：研修後レポート 授業態度：研修後レポート80% 授業態度(研修態度)20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			セキュリティや治安をよく理解し、協力的な団体活動を行うこと 研修先では前向きで意欲的に学ぶこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				